

後援会通信「グロース」春号

# GROWTH

—大学と家庭をむすぶ—

Linking the University with Families

2010 Spring

vol.

16



# 学窓に刻まれし歴史を旅する。



▲多賀城キャンパスは、旧海軍工廠(こうしょう:兵器・弾薬などを製造した工場)跡地だった  
およそ10万平方メートルの用地を取得し、建設・整備が進められた。写真は昭和40年頃の様子。

◀6号館までの研究・講義棟、図書館、体育館、礼拝堂を有する現在の多賀城キャンパス。  
鳥瞰すると豊かな緑にふちどられていることがわかる。2009年5月撮影。

## 光と影に綾なされた発展の時代。慈愛あふれる師と 恵まれた教育環境に育まれた人材は、日本各地へ、そして 世界へと巣立ち、輝く。

戦後の焦土からの復興、揺るぎのない教育理念を背景とした堅実で着実な歩み——その先に待ち受けていたのは、輝かしい発展の時代でした。

1962(昭和37)年、東北学院はキリスト教精神に立つ優れた技術者の育成のため、多賀城市にある約3万坪の敷地に工学部のキャンパスを開き、ここに機械工学科、電気工学科、応用物理学科(のちに土木工学科)を新設しました。時折しも、日進月歩の技術革新の時代。本学部を巣立った人材は、先進的な技術力で高度成長を牽引していきました。また、1964(昭和39)年には、文経学部を文学部(英文学科、基督教学科、史学科、二部英文学科)と経済学部(経済学科、商学科、二部経済学科)に分離、再構築し、翌年には法学部(法律学科)を設置しました。こうして東北学院大学は、文・経・法・工学部を擁する東北で唯一の私立総合大学となり、新たな一歩を印すこととなりました。これと前後し、各学部に大学院研究科を設け、学究の高みを目指す研究者の養成体制を整えました。

さらには、地域社会の要請に応じて、1959(昭和34)年、高等学校榴ヶ岡校舎を、1962(昭和37)年には幼稚園を新設しています。教育体制の充実、施設の拡充がまさに両輪を成して推進されていた頃、一方では、世界的な高揚をみせた学生運動に伴う大学紛争の嵐が、東北学院の学びの庭にも吹き荒れました。教職員は一致して事態の収拾に努力しましたが、警察の介入を余儀なくされることもありました。教職員全員の胸に深く刻まれることと



▲写真は昭和40年初めの多賀城キャンパスの様子。折しも高度経済成長時代、ここから巣立った人材は、日本の科学技術立国を支えた。

なった、この一連の「問いかけ」を内省的に受け止め、大学革新のための導きの灯火としています。

東北学院の恵まれた研究条件と教育環境から輩出された人材の活躍の地は、「地のきわみまで」に及んでいます。それは、伝道の志とともに遠く日本へ渡り、東北学院の礎を築いた宣教師たちの軌跡とも重なってみえるのです。

❖最終回へ続く

|          |   |                               |
|----------|---|-------------------------------|
| CONTENTS | 01 学窓に刻まれし歴史を旅する。<br>シリーズ⑦                | 10 青春トッランナー<br>すずめ踊り団体「五六八祭連」 |
|          | 03 SPECIAL ISSUE [特別企画]<br>対談：奥山仙台市長×星宮学長 | 11 年間スケジュール                   |
|          | 05 平成22年度後援会総会のお知らせ                       | 12 CAMPUS NEWS                |
|          | 06 平成22年度地区後援会のお知らせ                       | 13 学務部より                      |
|          | 07 ゼミ・研究室探訪<br>梶川 伸哉ゼミ                    | 学生部より                         |
|          | 09 倶楽部拝見<br>シンフォニック・ウィンド・アンサンブル(SWE)      | 就職部より                         |

学部仙台、史跡の町多賀城、これらの地域にある3つのキャンパスに本年も新入生を迎え、新しい年度がスタートしました。東北学院大学後援会は、学生の勉学や課外活動を支援するために組織されたものです。また、本誌「グロース」は、大学の近況を後援会会員である保護者の皆さまへ伝える情報誌であり、大学と家庭の架け橋となるものです。今号では、後援会総会や地区後援会の開催などについてお知らせしております。学生の充実した大学生活と東北学院大学の発展のために、保護者の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



ストレス解消法のひとつが、デパート地下の食品売り場めぐり。「あ、市長さん、何にしますか」と気軽に声を掛けてくださるのはうれしいですが、ちょっと恥ずかしいですね。

## 既存の枠組み・制度にNO！ 吹き荒れた学生運動の嵐。

**星宮** 本日はお忙しい中、足をお運びいただきありがとうございます。奥山市長とは、教育長をされていた折に、さまざまな会合でお目にかかることがありましたが、こうしてゆっくりとお話するのは初めてですね。よろしく願います。

**奥山** だいふ前になりますが、貴学の非常勤講師を務めさせていただいたこともあるんですよ。

**星宮** そうですか、ありがとうございます。奥山市長は東北大学経済学部のご出身で、まさに仙台が“青春の地”となるのでしょうか。どのような学生生活をお過ごしになりましたか。

**奥山** 1970(昭和45)年に入学しましたが、折しも全共闘運動・大学紛争真っ盛りで、落ち着いて勉強に勤しむ、という雰囲気ではなかったですね。私はなんともノンビリとした学生でしたが、社会の有り様に疑問や問題意識を持つ先輩や友人も少なくなかったのです。学生の多くは、“政治の季節”に吹き荒れる激しい嵐のなかで、社会変革を成そうともがいていましたし、また変えうるのだ！という希望と情熱を持っていたように思います。こうしたスチューデント・パワーによる社会運動は、当時の世界的な趨勢であり、好むと好まざるとにかかわらず、そういう時代だったということですね。

**星宮** 私は、安保闘争(日米安全保障条約改定をめぐる反対運動)のあった1960(昭和35)年に東北大学工学部に入学しました。この時期、確かに学生の多くが既存の社会の枠組みに対して、「これでいいのか」



対談

# 奥山仙台市長 × 星宮学長

さまざまな分野で活躍する方をお招きし、  
星宮学長がインタビューする特別企画。

第3回目のゲストは、昨年8月、第33代仙台市長に就任された奥山恵美子氏。全国初の女性政令市市長として、その一挙一動に注目が集まっています。星宮学長同様に、仙台で学生時代をお過ごしになった奥山市長。対談は、“激動”の青春時代の話から始まりました。

という危機感を募らせていましたし、政治に深く、時に過激にコミットしていました。今から思えば、手法・方策としてはあまり賢いものとは言えなかったかもしれません。しかし批判精神を持つことや、与えられた知識や情報を鵜呑みにするのではなく、自身の力で考察し、検証する姿勢を醸成されたように思いますね。こうしたスタンスは学問・研究の場でも必要なものです。

**女性が持てる力を伸びやかに  
発揮できる社会の実現を。**

**星宮** 学生時代の話をするとは紙面が足りなくなりますね(笑)。市長が、公務員になろうと思われたのはいつ頃でしたか。

**奥山** 大学3年生のころだったと思います。当時、四年制大学を卒業した女性には、就職先の選択肢がほとんどなかったという



のが実情です。夫(埼玉学園大学教授)も同窓でしたからよく覚えているのですが、男子学生の元にはダンボール箱分の採用情報が届くのに対して、私には便りナシです(笑)。経済学部の学部生240名の内、女性は2名という時代のことです。民間企業への道が開けていないとなると、残るは教員か公務員。得手不得手をいろいろ勘案し(笑)、二者択一で後者を選びました。試験対策で急遽、民法を勉強したのも懐かしい思い出です。

**星宮** 私は35年前、スウェーデンの大学に研究員として1年間滞在しましたが、当地では女性が社会の中でそれはイキイキと働いていました。もちろん男女平等も徹底していましたね。この光景は、日本からはるばるやってきた私にとっては大いなる驚きだったのです。その点、日本はまだ立ち遅れていて、最近のデータ「男女格差報告」(世界経済フォーラム、2006年)では、日本は世界115カ国中79位と評価されていました。

奥山市長には女性が伸びやかに、持てる資質と能力を發揮できる社会づくりに尽力いただきたいと思っています。

**奥山** 日本では、雇用の面でも、或いは社会参加においても法制度上の男女差はあり

ません(注:前者は昭和47年に「男女雇用機会均等法」が、後者は平成11年に「男女共同参画社会基本法」が公布・施行されている)。仙台市が採用する職員の男女比率も男女同等、年度によっては女性のほうが多いほどです。しかし、責任を伴った影響力のある仕事に就いている割合、つまり女性の管理職は6%ほどです。一方、日本はこれから人口減少の局面を迎えます(2005年、日本は初の人口自然減を体験した)。ですから良質なマンパワー・人的資源として女性の力も大いに活用していかなくてはならないのです。これまでは社会的な諸要因によってなかなか能力を發揮できなかったという反省もありますから、制度や仕組み、育児・介護などの支援をさらに整備・充実させていく必要がありますね。もちろん女性の就労に対する多様な意見・意識を尊重した上でのことですが、ワーク・

ライフ・バランスを図りながら、のびのびとしなやかに仕事に励む女性たちがもっと増えてくることを願っていますし、またそうしていかねばならないと感じています。

### 多様な価値観に向き合い、 コミュニケーションできる「雑談力」を。

**奥山** 昨今の学生さんは社会の中で何かを担いたい、果たしたいという気概がありますね。ボランティアしかり、環境やエコロジーへの意識も非常に高いです。とりわけ貴学の学生さんは、地域の中でさまざまな活動を展開されています。私がかつて市の職員として生涯学習の仕事をしていた折にも、市民の方向けの講座を企画していたこともあります。

**星宮** 120余年の歴史のある本学ですが(創立1886年)、その特徴のひとつとして、地域に根ざした大学ということが挙げられます。地元経済界では卒業生が数多く活躍し、大きな影響力を持っています。在学中は、サークルやゼミを通じて、地域とのかかわりをもつのはもはや「伝統」であり、当たり前な行為と捉えられている感もあります。街に学院あり、といったところでしょうか。

**奥山** 仙台市はこのたび「文化芸術創造都市部門」で『文化庁長官表彰』を受けました(2010年3月)。「市民力」を生かした文化イベントなどが評価されたのですが、そうした催しを底支えしてくれているのは実は学生さんなのです。たとえば「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」の音響装置の設営などは、学生さんがいなければ不可能と思えるほどです。

**星宮** なるほどそれは「学都」としての強みですね。こうしてボランティアや地域貢献に励む一方で、人とのかかわりやコミュニケーションを苦手とする学生さんも増えていっているように感じています。

**奥山** そうですね。昨今の新入社員が最も不安に思っていることに「人間関係」を挙げるそうです。片や企業でも採用にあたって「コミュニケーション能力」をもっと重視するそうですから、そのあたりは表裏といっても過言ではないと思います。私は常々「雑談力」の大切さを問っています。

**星宮** 雑談力とはいい言葉ですね。

座右の銘は「苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。」(新約聖書、ローマの信徒への手紙5章)。苦勞を通じて、人間は成長していくということです。



**奥山** 市職員は、市民の立場に心を寄せなくてはなりません。そこで必要となるのが多様な価値観を受け容れる広義のコミュニケーション力ですが、それを実感できる言葉にすると雑談する力なのです。

**星宮** 私は卒業式で、アメリカの神学者ラインホルト・ニーバー(1892-1971)が田舎の小さな教会で説教した際の祈りを紹介しました。それは「変えることのできない事柄については受け入れる冷静さを、変えられるものについては変える勇気を。そして、それら二つを見分ける知恵をわれらに与えたまえ」というものですが、やはり何事にも勇気をもって向き合ってほしいですね。

**奥山** 雑談力に勇気が加われば、怖いものナシですね(笑)。

**星宮** 今日は市長のお話が楽しく、時間がたつのも忘れませんでした。ありがとうございました。

**奥山** ありがとうございます。



### 星宮 望 (写真左)

東北学院高等学校から東北大学工学部電子工学科へ。同大学院工学研究科電子工学専攻博士課程修了、工学博士。長らく東北大学にて研究、教育に従事。2001年同大副総長、2004年3月定年退官、東北大学名誉教授。同年4月東北学院大学学長ならびに学校法人東北学院理事に、2007年学校法人東北学院学院長に就任。現在に至る。1941年生まれ、仙台市出身。

### 奥山 恵美子 (写真右)

岩手県立盛岡第一高等学校から東北大学経済学部へ。1975(昭和50)年仙台市役所へ入庁。生涯学習課長、市民局長、教育長などを経て、2007(平成19)年仙台市副市長に就任。2009(平成21)年3月末を以て辞職。同年7月仙台市長選挙にて初当選、同年8月第33代仙台市長に就任。女性の政令市市長は全国で初。1951年生まれ、秋田県秋田市出身。

# 平成22年度 東北学院大学後援会総会開催のお知らせ

本年も、新緑映える泉キャンパスを会場に、後援会総会を開催いたします。当日は、総会のほか、教員による公開講座やパイプオルガンコンサート、学科別懇談会や個別相談などの「大学開放プログラム」を多数用意しております。この機会に、ご子女の学生生活の一端に触れていただければ幸いです。保護者の皆さまのご参加をお待ちしております。

- 日時** 平成22年5月22日(土)
- 総会 / 10時30分～11時30分
  - 大学開放プログラム / 9時～15時30分
- 会場** 東北学院大学泉キャンパス(総会は礼拝堂)



昨年度の総会の様子

## 平成22年度 東北学院大学後援会総会並びに大学開放プログラム 開催概要 日程:平成22年5月22日(土) / 場所:泉キャンパス

| 時間    | 内容   |
|-------|--|
| 9:00  | <b>受付総合案内所</b> 9:00～15:00(1号館外)  |
| 10:00 | <b>後援会総会</b> 10:30～11:30(礼拝堂)  |
| 11:00 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1.開会宣言</li> <li>2.聖書朗読並びに祈祷</li> <li>3.挨拶</li> <li>4.議事 (1)平成21年度後援会庶務報告 (3)東北学院大学後援会会長の選任<br/>(2)平成21年度後援会収支決算報告 (4)平成22年度後援会事業計画(案)並びに会計監査報告 (5)平成22年度後援会収支予算(案)</li> <li>5.閉会宣言</li> </ol> |
| 12:00 | <b>本学教員による公開講座</b><br>11:50～12:30(2号館5階) 講師/教養学部長:佐久間政広  |
| 13:00 | <b>パイプオルガンコンサート</b><br>12:40～13:10(礼拝堂) 演奏者/今井奈緒子(教養学部教授)  |
| 14:00 | <b>学科別懇談会</b><br>13:20～14:20(2号館各教室)<br>・成績の見方、進級、卒業について<br>・学科の特色や教育内容<br>・教員との自由懇談(希望者のみ)  |
| 15:00 | <b>学生の就職を考えるセミナー</b><br>14:30～15:30<br>講師/松橋隆広<br>ヒューレックス(株)代表取締役  |
| 16:00 | <b>多賀城キャンパス見学会</b><br>14:30 泉キャンパス出発(無料送迎バス)<br>15:15～16:30 多賀城キャンパス見学<br>17:15 泉キャンパス到着(無料送迎バス)   |
| 17:00 |  |

**施設開放**  
9:00～15:30

(1)施設見学  
就職資料室  
図書館  
情報処理センター  
オーディオ・ビジュアルセンター  
カウンセリング・センター

(2)課外活動見学  
体育館  
総合運動場

(3)大学紹介ビデオ上映  
オーディオ・ビジュアルセンター

**昼食**  
11:00～14:30  
(学生食堂)

**個別面談コーナー**  
12:00～15:30  
(2号館各教室)

**学生部**  
・奨学金  
・課外活動  
・アルバイト  
・健康管理

**就職部**  
・就職活動  
・求人状況  
・教員・公務員への試験対策と準備

## 平成22年度 東北学院大学地区後援会開催のお知らせ

地区後援会とは、主に大学の夏休み期間を利用して、北は札幌市から南は水戸市までの全28地区に本学教職員が出向き、東北学院大学の近況のご報告や個別面談などを行うものです。5月の後援会総会の出席や欠席にかかわらず、どなたでもご参加いただけます。また、夏休み期間で帰省されているご子女と一緒にご参加いただくこともできます。該当する地域の保護者の皆さまへの正式なご案内状の発送は、6月中旬を予定しております。多数の方々のお申し込みをお待ちしております。

**実施期間** 平成22年7月10日(土)・24日(土)、8月19日(木)～21日(土)、8月26日(木)～28日(土)、9月3日(金)～4日(土)

**時間** 10時～13時

**実施会場** 全28地区(下記の表をご参照ください。)

**プログラム** 学務部・学生部・就職部からの説明、大学紹介ビデオの上映、教員による公開講座、昼食、個別面談など

※後援会カレンダーに記載されております盛岡地区後援会の日程が8月28日(土)から7月10日(土)に変更となりました。



昨年度の青森会場の様子

### 開催一覧

| 地域  | 開催地区 | 期日       | 会場                  | 地域 | 開催地区 | 期日       | 会場            |
|-----|------|----------|---------------------|----|------|----------|---------------|
| 北海道 | 札幌   | 8月28日(土) | ホテル札幌ガーデンパレス        | 山形 | 山形   | 7月10日(土) | 山形国際ホテル       |
|     | 函館   | 8月27日(金) | ロワジュールホテル函館         |    | 新庄   | 8月20日(金) | ニューグランドホテル    |
| 青森  | 青森   | 8月28日(土) | 青森国際ホテル             |    | 米沢   | 8月21日(土) | 東京第一ホテル米沢     |
|     | 弘前   | 8月27日(金) | ベストウエスタンホテルニューシティ弘前 |    | 酒田   | 9月4日(土)  | ル・ボットフー       |
|     | 八戸   | 7月10日(土) | 八戸グランドホテル           |    | 鶴岡   | 9月3日(金)  | 東京第一ホテル鶴岡     |
| 岩手  | 盛岡   | 7月10日(土) | ホテルメトロポリタン NEW WING | 福島 | 福島   | 7月24日(土) | 福島ビューホテル      |
|     | 北上   | 8月19日(木) | ホテルシティプラザ北上         |    | 郡山   | 8月28日(土) | 郡山ビューホテルアネックス |
|     | 一関   | 8月20日(金) | ベルリノーホテル一関          |    | 会津若松 | 8月20日(金) | 会津若松ワシントンホテル  |
|     | 宮古   | 8月26日(木) | 浄土ヶ浜パークホテル          |    | 相馬   | 9月4日(土)  | 相馬ステーションホテル   |
|     | 釜石   | 8月27日(金) | 釜石ベイシティホテル          |    | いわき  | 9月3日(金)  | いわきワシントンホテル   |
|     | 大船渡  | 8月28日(土) | 大船渡プラザホテル           | 新潟 | 新潟   | 8月21日(土) | 新潟東急イン        |
| 宮城  | 気仙沼  | 8月21日(土) | サンマリン気仙沼ホテル観洋       | 栃木 | 宇都宮  | 8月21日(土) | チサンホテル宇都宮     |
| 秋田  | 秋田   | 7月10日(土) | アキタパークホテル           | 茨城 | 水戸   | 8月20日(金) | 水戸プラザホテル      |
|     | 大館   | 8月26日(木) | ホテルクラウンパレス秋北        |    |      |          |               |
|     | 横手   | 8月19日(木) | 横手セントラルホテル          |    |      |          |               |

※一覧表の内容が変更となる場合もあります。6月中旬発送予定の正式なご案内状をご確認ください。

※一覧表にある時間は全体会の開催時間です。個別面談を希望される場合の最終終了時間は、青森・秋田・盛岡・山形・福島・郡山地区が15時頃、そのほかの地区は14時頃となります。なお、個別面談は先着順となります。

# 主役として存在が際立つロボットではなく、人の暮らしに やさしく寄り添う、パートナーとしてのロボットの開発を。

✦工学部機械知能工学科 梶川伸哉ゼミ  
(人間-機械システム学研究室)

“アトム”の登場から約60年、  
今や日本はロボット大国に。

「ロボット」と聞いて、みなさんはどんなものをイメージされるでしょうか。「鉄腕アトム」に代表されるようなSF漫画やアニメで活躍するヒーロー／ヒロインでしょうか。かつて入手困難といわれるほど一世を風靡(ふうび)した家庭用のペットロボットを思い浮かべる方も多かもしれませんね。またテレビや新聞などのメディアを賑わせるヒューマノイドロボット(人間型ロボット)の進化に注目している方がいらっしゃるかもしれません。

さて、「ロボットrobot」という言葉が

世界で初めて登場するのは、1921年。チェコスロバキア(当時)の小説家カレル・チャペックが創作した戯曲『R.U.R(エル・ウー・エル)』に登場する人造人間に名づけられていました。その語源は、チェコ語で「労働」「使役」を意味するrobotaにあるとされています。

輝かしい科学技術の象徴として、フィクションの舞台上で縦横無尽の活躍をみせていたロボットですが、近年のめざましい技術の進歩によって、夢物語から現実の世界へと進出してきました。1980年代になると自動車などの生産ラインに産業用ロボットが登場。限られた範囲で自律的に人間の代行をするロボットから、私たちを楽しませて

くれるエンターテインメントロボット(二足歩行ロボットや愛玩ロボット)、さらには建物内を巡回・警備するパトロールロボットまで、社会や暮らしの中で、その活躍の場を広げています。まさにロボットの研究開発は日進月歩の勢いで進んでいます。ここにちでは日本のテクノロジーなしに、世界の

ロボット産業は成り立たないとまでいわれています。わが国は世界に誇れるロボット大国なのです。今後は、生活支援・福祉・介護、レスキュー、宇宙開発などの分野で、人間に代わって作業を担うロボットの研究開発が期待されています。

「ロボット開発」と  
「人を知るための計測と解析」を  
両輪として推進。

例えば介護福祉の現場において、人の働きの一部をロボットに代行させようとする場合、知的かつ高い親和性を備えていることが求められます。つまり、機械システムとして人間から遠く隔たる冷淡な存在としてではなく、安全で安心でき、親しみや心地よさ、暖かみを感じさせるパートナーであることです。私たちが「ヒューマンアシストロボット」と呼ぶ所以です。その開発にあたっては、人間の動作解析や感性評価が重要になってきます。以下に、梶川研究室での主な取り組みをご紹介します。

❶ とかく難しくなりがちな研究内容を、専門用語を排し、わかりやすくご説明くださった梶川先生。穏やかな口調のなかに、ロボット開発や人材育成への熱き想いがのぞきます。



工学部 機械知能工学科  
大学院工学研究科 機械工学専攻 人間-機械システム学研究室

梶川 伸哉 教授 [工学博士]

1968年宮城県生まれ。東北大学工学部機械工学科卒業後、同大学院工学研究科博士後期課程修了(工学)。宮城工業高等専門学校、秋田県立大学を経て、2004年より東北学院大学工学部機械創成工学科助教授、2008年より現職。“人に優しい”をキーワードに人間の運動能力の解析に加え、心理特性なども考慮した福祉用ロボット”の開発を行っている。みやぎ高度電子機械人材育成センター運営会議委員も務める。





手指の繊細で複雑な動き、人と同じような器用さの実現は、未だ研究の段階。多くの研究者がしのぎを削る分野です。



「教授」という存在は、時に近寄りたいたいもの。胸襟を開いてざっくばらんに話し合うコミュニケーションの場として、梶川先生が大切にしているのが親睦会・懇親会です。写真は、昨年のオープンキャンパスの打ち上げのひとコマ。

### 【人とのコンタクトを前提とする ヒューマンケアロボットの開発】

マッサージ、スキンケア、リハビリ支援などでは、安全で快適な接触作業が求められます。ロボットハンドやアームの関節部に空気圧クッション等を内蔵し、柔軟性を持たせるとともに、接触状態も推定できる機能の開発を目指しています。

### 【ヒューマンマシンインターフェイスの 開発】

誰もが簡単に操作できることを目標として、言葉・画像・ジェスチャー・指先指示などの方法を取り入れたロボットの制御システムの開発に取り組んでいます。私たちが日常頻繁に使用する“ちょっと”や“少し”といった曖昧表現に対するイメージを捉え、人の感覚を高度に把握するロボットの動作制御を構築しています。

### 【手腕系の動作スキルの解析】

人の手指は、非常に器用な動きができます。その要因のひとつとして、関節の動きと柔らかさを自在に変化させること

で、外部の力の作用を制御していることが挙げられます。この関節の柔らかさの調節と関節運動の関係について実験を通して考察を行っています。

### 【触圧刺激に対する感性評価】

ロボットが人に触れる際の特性、ロボット表面の柔らかさ・温かさなどが人の心理にどのような影響を与えるのかを検討します。

### 社会人としても活かされる視座 “人との共生・協調”。

本研究室に所属する学生さん(学部4年生:11名、博士課程前期1年:1名、博士課程前期2年:2名)は、「モノづくり」への希求、モチベーションが非常に高いのです。ペットボトルでイカダをつくらうとするアウトドア派もいれば、研究室のロゴを制作してくれるクリエイター肌の学生さんもいます。実に創造力豊かです。そういう意味では、理論を現実に反映させていくロボットの開発は願ってもないフィールドなのでしょう。また「人間-機械システム学

研究室」と標榜する通り、私たちが目指すのはロボットが表舞台に立ち、主役になるような開発ではありません。あくまでも人との共生・協調を主眼に置いています。そうしたスタンスは、研究者としての道を歩む場合だけではなく、卒業後、どのような職種に就いても活かされる発想・着眼点であり、視座だと考えています。

科学の進歩は、常に研究者の旺盛な好奇心と探究心に支えられてきました。私が目標とするのは、要介護者のそばにあって、言葉によるコミュニケーションをとりながら、その行動をサポートするパートナーロボットの開発です。超高齢化社会に必要なとされるロボットの開発に向けて、個性豊かな学生さんとともに、その歩を進めていきたいと思っています。

## MY FAVORITE

### 私のお気に入り

大学から離れても、常に仕事や研究のことを考えてしまうという梶川先生。そんなマルチタスクな仕事にあって「ボーッとできる」という貴重なひとときが、小学生のご子息と出掛ける海釣り。潮風に吹かれながら、のんびり釣り糸を垂らしていると「思いがけず研究のアイデアが浮かぶこともあります」。どこに住んでいても、海が恋しくなるといふ太公望は、海沿いの町の生まれ。大海原への愛着はそんなところにも起因しているのかもしれませんが。



お気に入りの釣りスポットは牡鹿半島、月浦あたり

# 倶楽部 拝見

## シンフォニック・ウインド・アンサンブル(SWE)



シンフォニック・ウインド・アンサンブル  
2009年度幹事

藤垣 京子さん  
(文学部英文科4年)

2009年、発足から長い歴史を数える東北学院大学シンフォニック・ウインド・アンサンブル(以下SWE)はひとつの転機を迎えた。「昨年は外部から新しく常任指揮の先生をお招きし、コンクールでもまとまりのある演奏はできたという手応えはありました。ただ、個人的な技術が追いついていなかったのも事実。新体制一年目とはいえ、その先に進めなかったのはやはり悔しかったですね」。

2009年度、サークルの幹事を務めた藤垣京子さんが振り返るのは、卒業定期演奏会をはじめ数ある年間活動のなかでも大

目標となる全日本吹奏楽コンクール。SWEは宮城県大会大学の部で金賞を受賞したが、東北大会へ進む代表枠を手中に収めるまでには至らなかったのだ。

SWEには3年次に進級するメンバーがその後一年間、幹部としてサークルをまとめる伝統がある。そこで幹事に選出された藤垣さんは監督やコーチと相談し、県内で著名な先生を常任指揮として迎えることに。「先生方は、学生一人ひとりとしっかり向き合ってくださいの方々ばかり。演奏だけでなく、生活面まで幅広くご指導をくださり、机上では得られない多くを学ぶことができます」。恩に報いるためにもより上の大会へ。そのために掲げたのがサークル内の競争意識。これまではあえて目標を明示せず全員の一体感を大切にしてきた。しかし今年はシビアな環境もいわず、東北、そして全国大会への切符を掴みにいく。「大会

には55人まで参加が可能なので、ぜひ多くの新入生に入ってきてほしいですね。SWEはいい意味で上下関係が厳し過ぎず、適度の緊張感で練習できますし、学校行事にも積極的に参加できるサークルです。大学生活を充実させるには最高に適している、私はそう信じています」。



# 宮城県・デラウェア州 文化交流事業

「すずめ踊り団体  
『五六八祭連 いろはますら』」



すずめ踊り団体  
「五六八祭連」所属  
本郷 奈津美さん  
(文学部英文科4年)

かに責任感が違った。「やはり以前とは感じるものが違いました。現地の方とコミュニケーションも含め、自分がみんなを引っ張らなければという思いもありましたから」。実は本郷さんが本学の文学部英文学科を選んだひとつには、世界の人にすずめ踊りの素晴らしさを伝えたいという思いもあったという。自分の言葉でその魅力を伝え、体現する。今回の機会は、まさにうって

つけの場でもあったのだ。そして挑んだ披露のとき。踊り終えた本郷さんを包み込んだのは、現地の人々の温かい拍手と歓声だった。「自分たちの踊りが喜ばれたという実感はありました。約200人の前での披露でしたが反応が大きく、言葉は伝わらなく

ても心は通じると。またこういう機会があれば参加して、宮城県の地域活性化に協力したいですね。また無地の扇子にデコレーションし、踊りを教えるワークショップも好評だったという。すずめ踊りに魅せられて10年。本郷さんはさらに表現力を磨き、その魅力を発信し続ける。

**宮**城県と友好姉妹州関係にあるアメリカはデラウェア州。2009年11月、当地で開催されたリホボス・ビーチ独立映画祭に、宮城県の伝統文化をPRする学生の姿があった。すずめ踊り団体『五六八祭連』に所属する本郷奈津美さんがその人だ。「宮城県より団体に、当県のPRの一環として伝統芸能であるすずめ踊りを披露したいという協力依頼があり、ぜひ参加したいと思ったんです」。

本郷さんは『五六八祭連』に所属して10年。これまでも台湾やニューヨークなどで踊りを披露する機会があったという。しかし当時は年長者の背中が付いていく立場。今回渡米した約20人のメンバーには中学生や高校生も含まれるため、過去とは明ら





## 平成22年度 東北学院大学年間スケジュール

大学の年間スケジュールをお知らせいたします。

保護者の皆さまにもお覚えいただき、ご子女の円滑なる学生生活にお役立てください。

\*日程は変更となる場合もあります。

●年間スケジュール中の **土**印は土樋キャンパス、**泉**印は泉キャンパス、**多**印は多賀城キャンパスの日程です。

| 前期              |                              | 後期                 |                 |                              |                            |
|-----------------|------------------------------|--------------------|-----------------|------------------------------|----------------------------|
| 平成<br>22年<br>4月 | 5日(月)                        | 入学式                | 9月              | 13日(月)                       | 授業開始                       |
|                 | 6日(火)                        | 新入生オリエンテーション(~11日) |                 | 30日(木)                       | 9月期卒業式                     |
|                 | 12日(月)                       | 授業開始               | 10月             | 大学祭、ホームカミングデー[同窓祭]           |                            |
|                 | 17日(土)                       | スプリング・カレッジ         |                 |                              |                            |
| 5月              | 15日(土)                       | 創立記念日[創立124周年]     | 12月             | 3日(金)                        | 泉キャンパスクリスマス                |
|                 | 22日(土)                       | 後援会総会              |                 | 16日(木)                       | 大学クリスマス(土泉)                |
| 6月              | 5日(土)                        | 対青山学院大学総合定期戦(~7日)  |                 | 17日(金)                       | 大学クリスマス(多)                 |
|                 | 25日(金)                       | 対北海学園大学総合定期戦(~27日) |                 | 20日(月)                       | 授業終了(土多泉)                  |
| 7月              | 10日(土)                       | 地区後援会(秋田・山形・八戸・盛岡) | 21日(火)          | 冬休み開始(土多泉)                   |                            |
|                 | 24日(土)                       | 地区後援会(福島)          | 21日(火)          | 集中講義(土多泉~27日)                |                            |
|                 | 30日(金)                       | 振替授業(土曜日分)         | 28日(火)          | 割愛分振替授業(16日~17日分)            |                            |
|                 | 31日(土)                       | オープンキャンパス(泉多)      | 平成<br>23年<br>1月 | 4日(火)                        | 冬休み終了(土多泉)                 |
| 8月              | 1日(日)                        | オープンキャンパス(多)       |                 | 5日(水)                        | 授業開始(土多泉)                  |
|                 | 3日(火)                        | 授業終了(土多泉)          |                 | 5日(水)                        | 振替授業(月曜日分)                 |
|                 | 4日(水)                        | 前期試験(土泉~10日)       |                 | 15日(土)                       | 大学入試センター試験(~16日)           |
|                 | 4日(水)                        | 前期試験(多~11日)        | 22日(土)          | 授業終了(土多泉)                    |                            |
|                 | 11日(水)                       | 夏休み開始(土泉)          | 24日(月)          | 後期試験(土泉~29日)                 |                            |
|                 | 11日(水)                       | サマー・カレッジ(~13日)     | 24日(月)          | 後期試験(多~29日、2月4~5日)           |                            |
|                 | 12日(木)                       | 夏休み開始(多)           | 2月              | 1日(火)                        | 一般入学試験 前期日程(~3日)           |
|                 | 19日(木)                       | 地区後援会(横手・北上)       |                 | 8日(火)                        | 企業研究セミナー(全学部3年生対象<br>~10日) |
| 20日(金)          | 地区後援会(会津若松・新庄・水戸・一関)         | 3月                 | 4日(金)           | 一般入学試験 後期日程                  |                            |
| 21日(土)          | 地区後援会(新潟・米沢・宇都宮・気仙沼)         |                    | 24日(木)          | 卒業式                          |                            |
| 26日(木)          | 地区後援会(宮古・大館)                 |                    |                 |                              |                            |
| 27日(金)          | 地区後援会(釜石・函館・弘前)              | 9月                 | 3日(金)           | 地区後援会(鶴岡・いわき)                |                            |
| 28日(土)          | 地区後援会(大船渡・郡山・札幌・青森)          |                    | 4日(土)           | 地区後援会(酒田・相馬)                 |                            |
| 9日(木)           | 東北学院大生のための合同企業セミナー(全学部4年生対象) |                    | 9日(木)           | 東北学院大生のための合同企業セミナー(全学部4年生対象) |                            |
| 11日(土)          | 夏休み終了                        |                    | 11日(土)          | 夏休み終了                        |                            |



## 感動を言葉にのせて。 決定! TG版 「読書マラソン・コメント賞」

「大学の4年間で100冊の本を読む」を合言葉に、大学生協が主催する「読書マラソン」。読後、専用のコメントカードに感想・レビューを書くことでスタンプがもらえ、その数に応じて生協利用券などと引き換えることができるという企画です。「読書マラソンコメント大賞」(協力:朝日新聞社)は、寄せられるコメントを正式に評価しようと始まったもので、第5回目となる2009年度は、全国の大学98校から8753通もの応募がありました。その中で本学経済学部3年の木村渚さんが見事銀賞に輝いています。

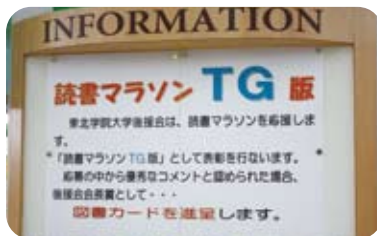
本学での読書マラソンの取り組みは非常に盛んであり、コメントカードの数は年間1000枚を超えます。そこで、優れたコメントに対し、学内で独自に表彰しようと始まったのが、後援会の全面サポートによる『TG版読書マラソン・コメント賞』です。初めての試みとなる2009年度



1月21日、泉キャンパスにおいて表彰式が行われました。後期試験中ということもあり、すべての受賞者にお越しいただくことはできませんでしたが、「本は心の栄養。これからもっと親しんでください」という言葉と共に図書カードが贈呈されました。



大学生協書籍部では、寄せられたコメントを本の帯に付けて紹介しています。それを参考にして購入する、「自分とは違う感想だ」と興味深く熟読するなど、反応もさまざまです。



生協書籍部の一角にあるインフォメーションボード。

は「後援会会長賞」に13名、「後援会B賞」に6名の学生が選ばれました。「哲学書を生きる指針にしている」という声から、「本を読むことで、違う世界を体験できる」「泣きたい時に、悲しい物語を読む」等、受賞者の読書の楽しみはそれぞれですが、「本のない人生はつまらない!」という意見では一致しているようです。

本を読み感銘を受けた学生がカードを書き、コメントを読んだ学生が興味を喚起され、その本を手取る…とマラソンならぬ“駅伝”のように、読書の愉悦が広がり、つながっていくことを願って……本企画は2010年度も継続される予定です。

MESSAGE

学務部  
より

早期卒業制度によって  
3年生2人が卒業しました

以前このGROWTHで、「早期卒業」という制度ができたことをご紹介しました。大学院への進学が決まっていた成績が非常に良い学生の場合、大学に4年間いなくても卒業できる制度のことです。ご紹介したときには、まだ制度ができたばかりでしたので、実際に早期卒業制度によって卒業する学生が出てくるかどうかは、全く予想がついていませんでした。しかし、平成21年度には、最初にこの制度を取り入れた法学部で、2人の早期卒業者が誕生し、卒業式でもそのことが会場で紹介されました。2人とも法科大学院への進学が決まっています。

法学部以外では、経営学部、工学部がこの制度を導入しており、経営学部では法学部と同様に3年生が終わった時点で卒業が可能であり、工学部では4年生の前期が終了した

時点での卒業となります。工学部の場合、さらに修了まで通常2年間かかる大学院の前期課程を、非常に成績が良ければ1年半で修了できる仕組みになっています。修士号を得るのに普通なら6年間かかるところを、5年間で済ませることができるようです。

この制度には、学生にとっては学納金が普通よりも少なくすむという意義、大学にとっては優秀な大学院生を確保できるという意義、社会的には、大学院修了が求められる職業につこうとする学生を教育機関にしばらくつけておく期間を、可能なら短縮できるようにする、という意義があります。学生の多様なニーズにすべてこたえることは無理ですが、いろいろなバランスを考えたいうえで、大学にとっても有益であると考えられる制度は、今後も積極的に取り入れて参ります。

MESSAGE

就職部  
より

就職活動スケジュール

|        | 1年生   |    | 2年生  |   | 3年生                                   |  |   |
|--------|---|----|--|---|---------------------------------------|--|---|
|        | 10月   | 3月 | 6月   | 3月  | 6月                                    | 8月   | 10月   |
| 一般企業   | ●就職ガイダンス<br>●適性検査                               |    | ●就職ガイダンス<br>●職業適性検査<br>●就職対策講座<br>●論文講座                                    | ●就職ガイダンス<br>●職業適性検査   | ●第1回 就職活動ガイダンス<br>●職業適性検査<br>●SPI模擬試験 | ●第2回 就職活動ガイダンス   | ●第3・4・5回<br>●就職実践模<br>●SPI模擬試験<br>●第1・2回就職支<br>●第3回就職支援講演会<br>●インターンシップ |
| 公務員・教員 | ●公務員ガイダンス<br>●公務員講座 [教養基礎]<br>●公務員講演会<br>●教員講演会 |    | ●公務員ガイダンス<br>●公務員講座 [教養科目徹底コース]<br>●公務員講座 [専門科目徹底コース]<br>●公務員講演会<br>●教員講演会 | ●公務員ガイダンス<br>●公務員講座 [教養科目徹底コース]<br>●公務員講座 [専門科目徹底コース]<br>●公務員講座 [技術職コース]<br>●公務員講演会<br>●教員講演会 |                                       | ●公務員講座 [教養科目徹底コース]<br>●公務員講座 [専門科目徹底コース]<br>●公務員講座 [教養科目演習コース]<br>●公務員講座 [専門科目演習コース]<br>●公務員講座 [公安系職種向教養科目]<br>●公務員講座 [技術職コース] |   |

\*スケジュールはキャンパスによって多少異なります。



## 学生生活の経済支援 奨学金制度をご活用ください

学生部では、学生生活を経済的に支援するために日本学生支援機構(旧日本育英会)による奨学金制度の窓口を担当するほかに、本学独自の奨学金制度を運用しています。

日本学生支援機構の奨学金には無利子の第一種と有利子の第二種があり、本学では両方あわせて総数4500名を越える学生が、奨学金の貸与を受けています。貸与月額は第一種の場合、自宅、自宅外によって異なりますが、3万円から5~6万円程度になります。

本学独自の制度には返済の必要のない給付奨学金、緊急給付奨学金、ローンの利子分を給付する学費ローン、入学時ローン利子給付奨学金があり、ほかにキリスト教学科、夜間主コース向けの奨学金があります。

給付奨学金は全学年が対象で、経済的に苦しく修学困難

な学生に30万円を給付するもので、毎年申請を受付けています。緊急給付奨学金は家計支持者が失業、病気等で家計状況が急変し、修学困難となった学生を対象とし、随時申請を受付けています。給付額は当該学期の授業料相当額になっています。

本学の奨学金制度につきましては毎年後援会から刊行される「保護者のための大学ガイド」に詳しく紹介されていますので、是非ご覧ください。また、学生部では奨学金制度のご説明もいたしますので、お問い合わせいただければ幸いです。

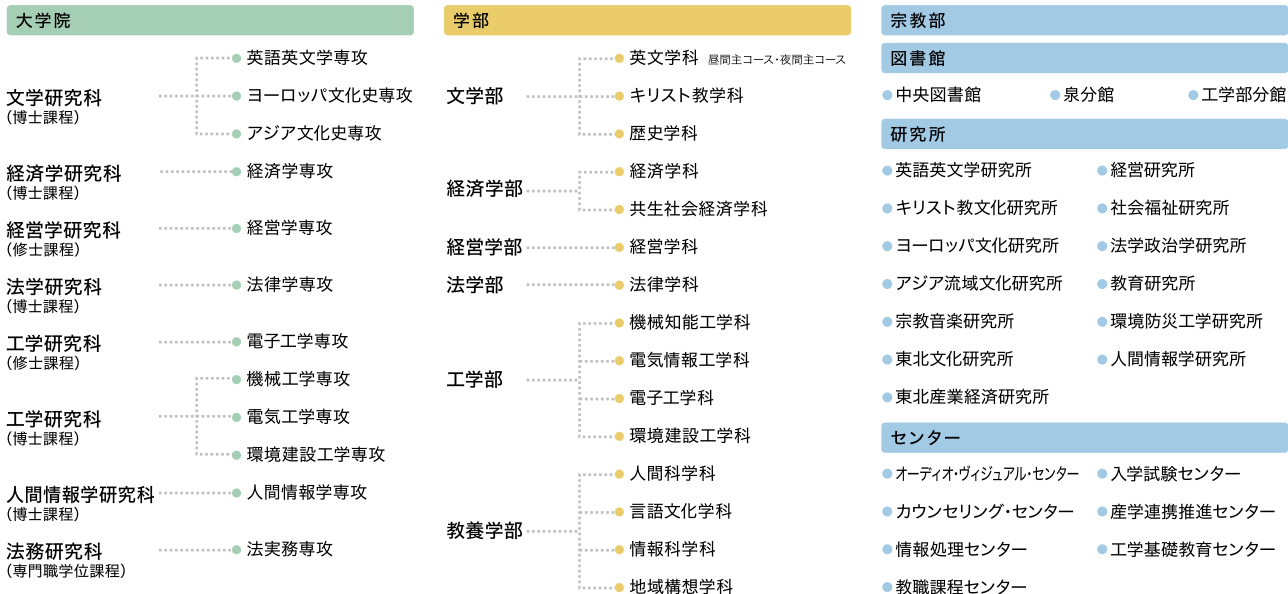


任期(平成20年~平成22年)

- 会長 …………… 丸森仲吾(仙台市)
- 副会長 …………… 三島卓郎(仙台市)・後藤久幸(仙台市)
- 庶務担当理事 …… 高橋祥允(仙台市)
- 会計担当理事 …… 小濱良雅(仙台市)
- 理事 …………… 伊東知男(仙台市)・寒河江満子(仙台市)・佐久間敬之(仙台市)・村山令記(仙台市)・渡辺静吉(仙台市)・門脇利勝(石巻市)・桂久(札幌市)・成田智典(青森市)・松本宏(八戸市)・小野寺久美子(秋田市)・深澤慎彦(横手市)・工藤敏納(盛岡市)・大友敏男(宮古市)・及川和夫(北上市)・浦島康弘(大船渡市)・金子泰雄(山形市)・鈴木信一(酒田市)・國分容子(福島市)・只野裕一(相馬市)・福井丈夫(新潟市)
- 監事 …………… 白木進(仙台市)・浅野ひとみ(仙台市)・菅野雅之(仙台市)
- 顧問 …………… 平河内健治・星宮望
- 参与 …………… 柴田良孝・齋藤誠・遠藤健一・原田善教・山本展雅・高木龍一郎・遠藤銀朗・佐久間政広・日野哲・佐々木哲夫・井上義比古・植松靖夫・辻秀人・前田修也・中川清和・佐々木郁子・松澤茂・佐々木文彦
- 事務局長 …… 門脇那知
- 事務局員 …… 齋藤淳・佐藤光男・丹野光雄・佐藤勇三・高橋明・菅井研・石井勝雄・桔梗元子・海老田保夫・駒板高明・渡邊義春・草野正聡

## ORGANIZATION 教学組織図

平成22(2010)年4月1日現在



## 東北学院大学

|             |  |              |  |        |   |
|-------------|--|--------------|--|--------|---|
| 土樋<br>キャンパス | 大学院：文学研究科、経済学研究科、<br>経営学研究科、法学研究科、<br>法務研究科<br>学部：文学部・経済学部・経営学部<br>法学部(各3・4年)、夜間主コース<br>〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1<br>tel 022-264-6421(総務課)<br>fax 022-264-3030( // ) | 多賀城<br>キャンパス | 大学院：工学研究科<br>学部：工学部<br>〒985-8537 多賀城市中央1-13-1<br>tel 022-368-1116(庶務係)<br>fax 022-368-7070( // ) | 泉キャンパス | 大学院：人間情報学研究科<br>学部：文学部・経済学部・経営学部<br>法学部(各1・2年)、教養学部<br>〒981-3193 仙台市泉区天神沢2-1-1<br>tel 022-375-1121(庶務係)<br>fax 022-375-4040( // ) |
|-------------|--|--------------|--|--------|---|

## 東北学院大学後援会通信 GROWTH (グロース) vol.16 ■本誌に関するご意見・ご要望をお待ちしております。

発行日/平成22(2010)年4月  
 編集/東北学院大学後援会事務局(総務部総務課内)  
 発行/東北学院大学後援会 〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1 tel 022-264-6411 fax 022-264-3030  
 E-mail kouenkai@staff.tohoku-gakuin.ac.jp URL http://www.tgu-kouenkai.org/  
 印刷/ハリウコミュニケーションズ株式会社

○GROWTH(グロース)の意味は、「成長する」です。聖書には、「どんな種より小さいのに、成長するとどの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て枝に巣を作るほどの木になる」(マタイによる福音書13章32節)、また、「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です」(コロントの信徒への手紙一3章6節)と記されています。東北学院大学の学生の皆さんが各分野において、知識や技術、教養を十分に修め、神と人に祝福されつつ大きく成長するようにという期待が本誌に込められています。

【本誌における個人情報及び掲載記事の取り扱いについて】本誌に掲載されている個人情報は、本人の了解のもとで本誌に限り公開しているものです。よって、第三者がそれらの個人情報を別の目的で利用することや、本誌の無断転載はお断りしております。  
 【「個人情報保護法」への取り組みについて】平成17年4月1日より「個人情報の保護に関する法律」が施行されたのに伴い、東北学院大学後援会では個人情報の取り扱いについて、学校法人東北学院が制定した「学校法人東北学院個人情報保護規程」にのっとり、個人情報の適正な管理と保護に努めています。後援会事務局では、東北学院大学後援会の運営に必要な皆様からの個人情報をお預りしていますが、今後も個人情報保護法に基づき慎重に取り扱って参りますので、皆様方のご理解ご協力をお願いいたします。なお、後援会事務局で使用される個人情報の利用目的は次の通りです。  
 ●「保護者のための大学ガイド」並びに「後援会通信「グロース」」の発行・送付 ●「後援会総会」並びに「地区後援会」の案内 ●その他、上記に関連する業務

